

新型コロナウイルス感染症新規患者数増加の裏にある、追えていない感染経路を見いだす質的研究

方法

- 2021年5月22日～6月29日に国立国際医療研究センター病院に入院した20歳以上の新型コロナウイルス感染症患者43名を対象とした。
- そのうち、感染経路が明らかでない22名（男性17名、女性5名、年齢中央値44歳）より発症前の行動歴を詳しく聞き取った。

結果

- 22名のうち、14名(64%)に感染リスクの高い行動歴があった。
- 感染リスクの高い場面はのべ24あり、うち21場面(88%)が飲食関連、22場面(92%)でマスクが着用されていなかった。
- これまで見つかっていなかった新規の感染経路を見いだすことは出来なかった。

結論

- 感染には飲食がやはり多くの事例で関係していることとともに、感染防止に対する意識付けや十分な知識が不足していることが判明した。これらは、解決すべき喫緊の課題である。